



# すぎ七

杉並区立杉並第七小学校

校長 齋藤 瑞穂

TEL 3392-6328

FAX 3393-7536

令和3年1月8日 No. 519

## 今日から「進年」 ～明るい未来に向かって、力強く～

校長 齋藤 瑞穂

あけましておめでとうございます。皆様お健やかに新年を迎えられたことと存じます。

今年は丑年。「丑」という字には「からむ」という意味があり、芽が種子の中で伸びることができない状態を表しているそうです。加えて「うし(＝牛)」は、古来乗り物を引いたり農作業の力強いパートナーになったりと、人を助けて大変な仕事も地道にこつこつ進めるイメージがあります。そこから、丑年は、「我慢(じっと耐える)」や「発展の前触れ(やがて芽が出る)」を表す年になると言われます。まさに今、新型コロナウイルスとの闘いの最中であって、なんとも象徴的です。この難局をじっと我慢することで、やがて先が開ける――そんな一年になるのでしょうか。

一方で、元日の新聞の全面広告に、印象的なコピーがありました。

**「今日から、進年。」**

人気少年漫画誌等を出版している企業のもので、人気キャラクターたちが勢ぞろいして前方を見据えている画の迫力にまず目が留まり、続いて上のコピーとそれに続く言葉を読んで、私は大いに励まされる思いがしました。

**何があっても止まらない。/どんな時でも進み続ける。/その強い意志こそが、/いつだって世の中を動かしてきた。**

**それぞれの物語を通して/ヒーローたちが教えてくれるのは、/いかなる困難も乗り越える/人間の無限の可能性。**

**さあ、新年だ。/心のページをめくって、/新しい白紙に/君の未来を描きこもう。/立ち止まらず、/振り返らず、/次の時代に向かって、/飛び出していけ。**

さすが、一貫して「友情・努力・勝利」を編集方針として某漫画誌を発行している出版社だなあと感心しました。子供たちにも届く平易な言葉で語られた、新年の幕開けに相応しい力強いエールだと思ったからです。

1都3県には再び緊急事態宣言が発出され、悲観的になりがちな状況ではありますが、子供たちには常に明るい未来を描かせたいですし、それが私たち大人の大切な役目だと考えます。我慢、辛抱、それだけの年にはなりません。子供たちが、思い描いた未来に向かって立ち止まらず進み続けることができるよう、今年も教育活動全体を通して「たくましく生き抜く力」を育んでいきたいと改めて意を強くしました。

杉七小の子供たちと教職員、そして保護者、地域の皆様が共に手を携え、令和3年を「進年＝未来に向かって力強く歩みを進める年」としていきますよう、変わらぬご理解とご協力をお願い申し上げます。

### 緊急事態宣言を受けて

学校は、子供たちの学びを保障するために、可能な限り通常の学習活動を続けます。ご協力ください。

- 学校で集団感染を起こさないため、これまで同様、毎朝必ずお子さんの健康観察をしてください。お子さん本人、または同居のご家族に、発熱、のどの痛み、咳、味覚・嗅覚異常等があるときは、登校させないでください。また、保健所の指示でお子さん本人、または同居のご家族が新型コロナウイルス感染症の検査を受ける場合も、学校にお知らせください。いずれも出席停止(欠席としない)になります。
- 保健所の指導により、マスクは不織布のものを推奨します。
- 1人1台のタブレットPC配布に先立ち、1月16日の土曜授業日の放課後にオンラインホームルームを試行する予定です。ご協力いただける方は、MS TeamsのIDとパスワード(7月末配布済)を確認しておいてください。詳細は後日お知らせします。
- 1月30日の土曜授業は中止します。また、16日は2時間授業とします。